

6、環境保護印刷のあらし = 環境保護印刷推進協議会 =

福田 光明

1. 地球環境保全へゼロエミッション

地球にやさしい環境保全の具体的な方策として、大気汚染防止のために揮発性有機化合物（VOC）の排出を規制すること、水質汚濁防止のために廃液・排出を出さないことが、印刷業界にとって重要な課題になっている。

環境保全を実現するには、印刷物を製作するのに必要な素材、資機材、薬品、生産工程、加工方法、リサイクルなどあらゆる角度から、さまざまな対策を講じなければならないが、当協議会では、印刷産業全体のサステナブルな発展をめざして、このうち「空気」と「水」を汚さないことに焦点を当て、「刷版」～「印刷」の工程に限定して自己適合宣言をおこなうこととした。

2. 環境保護印刷マークの制定

環境保全に取り組んでいる企業としての経営姿勢、事業活動を象徴すると同時に、環境保護に適合する印刷物であることを明らかにするために「クリオネマーク」を制定した。このマークは、登録して会員になった印刷会社（工場）だけが、オフセット印刷に関する営業活動、生産工程および印刷物に関して使用できる。環境対応製品に指定された印刷資機材を使用することによって登録を認められると、マークに記載するエコ認証登録番号（PIN 番号）が交付される。

3. 登録基準に3つのステータス

印刷会社が認証登録を申請する際には、自社の実状に見合った以下の3つの段階から、最適なステータスを選べる。各ステータスとも、済んだ空気のための Non-VOC、きれいな水のための Non=DRAIN を可能にする詳細な登録基準が定められている。枚葉オフセット印刷とオフ輪印刷とでは自ずと規制の水準が異なっており、とくにインキに関してはそれぞれ別個の内容が決められている。

シルバー = CTP版を使用した刷版～印刷工程から、排水・廃液を出さず、また、VOCの削減に取り組んでいること。

ゴールド = シルバークラスを前提に、ノンプロセス CTP プレートおよびノン VOC インキ + ノン IPA 湿し水、湿し水濾過装置の採用で、ゼロエミッションを進めていること。

ゴールドプラス = ゴールドクラスで高精細印刷、FM スクリーン印刷を採用し、工場内のインキ・湿し水の使用量の削減をはかっていること。

4. 社会貢献を通じて差別化を実現

会員となった印刷会社は、自社製作の印刷物はもとより、新聞・雑誌広告、社名看板、会社案内、名刺などに「クリオネマーク」を掲示できる。印刷物に関して環境対応の対外的 PR が可能になるとともに、自社のマーケティング戦略に結びつけることができる。たんに公害防止、規制遵守に止まることなく、環境保全への全社的な取り組みを通して顧客の理解を得、業績向上につなげるという「環境経営」を視野に入れて行動している。

